

## 財務の概要

### (1) 決算の概要

#### ① 貸借対照表の状況

有形固定資産の建物は減価償却により減少し、短期大学および専門学校の学生用パソコンの更新により教育研究用機器備品が増加しました。

有価証券は、一部が当年度中に満期を迎え減少しています。

借入金は、計画どおり返済し減少しています。

学校法人会計基準の改正に伴い、当年度より賞与引当金を計上しています。

基本金は、第1号基本金を取り崩しにより減少しています。

繰越収支差額は、前年度末から3億3,651万円減少し、△34億9,706万円となりました。

純資産合計は、55億4,923万円となり、前年度より減少しました。

#### ② 収支計算書の状況

##### ア) 事業活動収支計算書

当年度の教育活動収入は14億2,630万円となり、前年度に比べ4,700万円の減収となりました。学生数の減少に伴う学生生徒等納付金の減少が主な要因です。補助金収入は、修学支援制度による学費減免対象者が拡大したことにより短期大学、専門学校ともに授業料等減免費交付金が増加しました。前年度に比べ退職者が減少したことにより、雑収入のうち退職金財団交付金収入が減少しました。

教育活動支出については、人件費が教職員数の減員と退職金の減少により前年度より減少しました。当年度より、翌年度の上期賞与支給額(予算額)のうち当年度に負担すべき金額を、賞与引当金繰入額として人件費に計上しています。奨学費が5,000万円以上増加しましたが、前述の修学支援制度による学費減免対象者の増加によるものです。そのため教育研究経費は前年度より増加しましたが、募集経費をはじめとする管理経費は減少し、教育活動支出は前年度より6,000万円減となりました。

教育活動外収支は収入超過となりましたが、経常収支差額は3億3,428万円の支出超過となりました。

その他の特別支出には賞与引当金特別繰入額が含まれ、当年度上期賞与支給額のうち前年度に負担すべき額であり、会計基準改正初年度にのみ計上されるものです。

基本金組入前当年度収支差額は3億5,510万円の支出超過となりました。設備の更新による既存設備の廃棄や除却で第1号基本金が1,860万円の取り崩しとなり、翌年度繰越収支差額は△34億9,706万円となりました。

##### イ) 資金収支計算書

資産売却収入は、有価証券の満期償還によるものです。

借入金等収入1億円は、運転資金として借り入れた短期借入金です。

設備関係支出は、短期大学および専門学校の学生用パソコン更新等による教育研究用機器備品支出です。

翌年度繰越支払資金は3億8,176万円となり、前年度末より1億4,300万円減少しました。